

義経逃躰行

—祇園あやかし奇譚—



◆日 時：令和8年2月3日(火)～7日(土)、9日(月)～13日(金)

・1回目 13時～14時30分 (全日) ※全日ご予約制

・2回目 15時15分～16時45分 (全日) ※開場は各回の

・3回目 17時30時～19時 (全日) 開演20分前

・4回目 19時45分～21時15分 (全日)

◆場 所：お茶屋「大仲」(一階「祇園房」/二階座敷)

◆入場料：男性/女性とも 6500円 (お飲み物、乾き物付)

◆問合せ：お茶屋「大仲」 Tel 080-5310-7326 ※お電話・ショートメールで

祇園にAR/VRの仮想空間が出現！

義経になって怨霊を倒せ！

◆ごあいさつ

2026年も恒例のおばけ「大仲座」を開催させていただくはこびとなりました。今回は世の最先端を走られている株式会社エスユーエス様（本社京都）の“是非この京都を盛り上げたい”との熱い思いにより実現した素敵な企画になります。今話題のAR/VR技術により、義経と平家怨霊との戦いがこの祇園の街に繰り広げられます。しかもその義経役はゴーグルをつけていただいたお客様自身になっていただくという体験型の趣向になっております。また筑前琵琶奏者の川村旭芳さんによる、哀調を帯びつつも力強い琵琶の演奏も流れ一段と雰囲気を盛り上げます。是非皆様お誘い合わせの上お集まりいただき、盛大に節分の厄払いをしていただきますようお願い申しあげます。

お茶屋「大仲」 女将 大仲京子



- ・ARとは、Augmented Reality（オーグメンテッドリアリティ）の略で「拡張現実」を意味します。現実の風景に対しコンピュータで情報を付加または合成して表示する技術を指します。
- ・VRとは、Virtual Reality（バーチャルリアリティ）の略で、「仮想現実」を意味します。コンピュータで作成または3D撮影された映像や音声などを、現実世界かのように体感できる技術や、その考え方を指します。



◆「義経逃避行～祇園あやかし奇譚～」あらすじ

- ・壇ノ浦で平家を滅ぼした義経は、腰越こしごえ（鎌倉市南西部）まで戻りくるが、頼朝から謀反を疑われ鎌倉入りが叶わず、腰越からの折り返しの逃避行が始まる。そして京都潜伏中は、六条堀川や東山界隈にかくまわれていたという逸話はあるが、詳細は分かっていない。しかし実は義経は、従者達と共に巫女の弟子に扮し、祇園の屋敷（お茶屋「大仲」の前身）に潜伏していた。そしてそこでは、平家の総大将や一族の怨霊に襲われるという恐ろしい体験をしていたのであった。
- ・突然座敷は火の海となり、壇ノ浦で倒したはずの平家の大将平知盛ともりが落ち武者の姿をした怨霊となって現れる。知盛は床に火を放ち、刀を手に襲い掛かってくる。しかし義経らはこのような事を想定し魔法陣による結界をひいていたのだった。その結界に知盛が足を踏み入れると義経の持つ名刀「薄縁うすみどり」の斬撃さんげきにより打ちのめすことができるのであった。また「薄縁うすみどり」は放たれた火を消し去ることもでき、自身の隠れ家の危機をも見事救うのであった。
- ・しかし落ち武者となって現れた知盛を追い払ったのも束の間、気が付けば隠れ家の屋敷は一軒荒れ果てた姿に。平家一族の怨霊の仕業であった。巫女の力を借り、その弟子に扮した義経は、今度は靈験あらたかな勾玉を武器として平家一族の怨霊と戦うことになるのであった。



- AR/VR企画制作：株式会社 エスユーエス様
- 琵琶演奏：川村旭芳様（映像出演）
- 撮影用兜のご提供：株式会社東山堂 祇園八坂店様
- 大仲座おばけ2026企画・運営：お茶屋「大仲」

